

法教育への想い “ジュニアロースクール”で実感

会員 田村 哲雄



はじめに

法曹を目指し始めたころから修習生時代までを振り返ってみると、私は、法曹三者のいずれを志望するかも含めて、様々な未来像の間をふらふらと彷徨っていた。その間にあっても、一度たりともぶれなかったのが、法教育に携わりたいという熱意である。

念願が叶い、現在は、法教育センター運営委員会の一員として、様々な企画に携わっている。

ジュニアロースクールとは

同委員会では、6月からジュニアロースクールに向けた準備が佳境を迎える。ジュニアロースクールとは、法教育センターが夏休みの初め頃に開催するイベントであり、毎年、小学生ないし高校生を対象とした様々なコースを用意している。子どもたちは、その中から、個人単位で、参加したい企画を選択することができる。興味のあるコースを自ら選択し、普段とは異なる仲間の中で学ぶことできるため、学校・クラス単位で行われる他の企画とは一味違った学習効果が期待できる。

新企画“民事模擬裁判”に参加

今年は、中学生及び高校生を対象とした、刑事裁

判傍聴、民事模擬裁判及び刑事模擬裁判という3つのコースを用意した。このうち民事模擬裁判は新しい企画であるため、私も、その具体的な内容を作る作業に参加することができた。

その作業においては、この企画によってどのような教育的効果を狙っているのかといった根本的な問題から、より理解し易い表現にするにはどの言葉を選ぶべきかといったきめ細かな問題まで、若手もベテランも関係なく、闊達な議論が交わされた。

法教育に込める想い

大学時代に行った教育実習や塾講師のアルバイトなどの拙い経験から感じたのは、教育は万能ではないということと、教育には無限の可能性があるということである。すべての子どもに対して最高の教育効果を上げることなどできないが、同委員会が実施する企画を通じて、少しでも多くの子どもたちに、何か新しいことを感じ取り、考え、三歩進んで二歩下がるというような理解を繰り返しながら、社会人の卵として成長していったほしい。そんな想いで、今後もジュニアロースクールをはじめとする様々な企画に取り組んでいきたいと考えている。

8年目のジュニアロースクール ～初めての民事模擬裁判を実施～



新企画プロジェクトチーム会議

法教育センターが主催する夏休みジュニアロースクールは、今年で8年目を迎える。7月21日・22日の2日間に4つのコースが弁護士会館で開催され、中学生と高校生、147名が参加した。委員が模擬裁判を実演し、評議のアドバイスをし、裁判傍聴を行い、子どもたちと弁護士が交流した。今後の法教育を考える上での貴重な体験の場となった。

【コース内容】

Aコース	刑事模擬裁判	7月22日(金) 午後1時～4時
Bコース	刑事裁判傍聴	7月21日(木) 午前9時～正午
Cコース	刑事裁判傍聴	7月22日(金) 午前9時～正午
Dコース	民事模擬裁判	7月21日(木) 午後1時半～4時半